

# かわら版 いわしろ



「みかんの国からりんごの国へ。岩代暮らしにわくわくしています」  
地域おこし協力隊員  
有野真由美さん

**Q 応募の動機について**  
二本松市在住の友人夫妻と長年つきあいがあり、以前から福島が大好きでした。学生時代からスキーや登山を愛好して、福島の名だたる山はほとんど登りました。

二年前、フリーランスとして欧米からの個人旅行者を対象にした通訳ガイドの仕事をはじめたのですが、今春、コロナ禍で予約が全部キャンセルになり、休職状態に。ちょうどその頃、二本松の友人から地域おこし協力

隊の話聞き、「大好きな福島で仕事ができるなら」と、子育ても終わったので、思い切って応募することに。採用していただけて感謝しています。

**Q 今までの仕事経験について**  
大学時代以降、関東各地で生活していました。東京での出版社勤務の後、フリーランスのライター・編集者として長く働きました。その一方で、自転車の魅力に目覚め、自転車を活用したまちづくり、サイクルツーリズムを推進するNPO法人を立ち上げて活動した経験もあります。



## 有野さんが感じる 岩代の魅力とは？



- ★「自然の緑が奥深い！」  
「福島に来て感じるのは緑の深さ。折り重なる山々の多彩なグラデーションに感激します。」
- ★「赤い屋根がかわいい！」  
「周囲の緑とマッチした赤いトタン屋根の農家を見るたびに素敵だなあと感じます。」
- ★「尾根伝いの山道からの眺めが最高！」  
「国道からそれた山道の途中、遠くまで山並みが見えるビューポイントがあって心が躍ります。」



「日山パークゴルフ場にて、案内役の武藤琴美さんと。」「開放感があって、何度でも訪れたい場所」と有野さん

**Q 協力隊員としての抱負は？**  
まだ着任して間もないため、毎日が新鮮で、緊張の連続です。しばらくは地域の理解に努め、自分の感覚で岩代の宝を発見していきたいです。地元の人にはありふれた景観が、外から来た私には素晴らしいと感じられることも。また、当地で出会った方々が温かくて、方言が優しく感じられました。今後、「岩代ならではの味わい深い旅」を提案していけたら本望です。

茨城県つくば市で二十数年暮らしましたが、通訳ガイドになると同時に、故郷の岡山へ移りました。



▲「パワーを感じます」杉沢の大杉にて、同じく武藤さんと

活動を目指していますが、まずは国内から始めたいです。来春のお花見や岩代の皆さんとの出会いを楽しみにしています。少しでも地域のお役に立てるよう精進していきたいと思っております。皆さん、どうぞよろしくお願いたします。



### シクラメンの花が満開！ 11月下旬から販売開始予定！

ちよっころ

いってきました！  
安達東高校を訪問！

安達東高校の温室には、シクラメンの花が見事に咲き、出荷の時期を迎えようとしています。赤、ピンク、白、紫など、色も花びら模様も異なり、いつまでも眺めていられるくらいきれいでした。鉢植えは450鉢ほどあり、農業コースの3年生10人の手により育てられました。今月下旬には販売を開始する予定。12月5日土曜日には、二本松市民交流センターで販売の予定です。

▲シクラメンは一鉢1,000円。直接、学校での販売も随時、行っています



▲春にはカーネーションの販売も行う予定。かわいい苗が並んでいました



▲イチゴや他の苗の栽培研究も



▲写真右から3年1組の菅野友喜さん、渡邊学人さん、須田綾香さん、遠藤実咲さん、農場長の長南先生

### 安達東高校3年生に直撃インタビュー！

「地元の若者の声を」と、安達東高校の3年生4人にインタビューしてきました。

「岩代についてどう思うか？」の質問に対し「大型ショッピングセンターがほしい」「部活で使うスポーツ用品を扱う店がほしい」「友人とお茶をしたり食べに行きたいとき、二本松や安達方面までバスで行かなければならない」「買い物等の日常生活の不便さ」が出されました。

一方、「嬉しかったのは学校の近くにコンビニができたこと」「自然がいっぱいの環境なので気持ちが休まる」「春には

通学路の『あいさつ坂』の桜並木がとてもきれいです」と地域への思いや通学で感じたことを話してくれました。

地元企業へ就職する人や県外に進学する人など、卒業後の進路は様々ですが、学校や地域愛の発展のヒントになることが聞けました。



▲さくらの郷のパウンドケーキを試食中・・・

### 編集後記

#### さくらの郷・新そばまつり大盛況

11月14日・15日、恒例の新そばまつりが開催され、多くの人で賑わいました。

岩代高原産のそば粉を使った十割そばやかき揚げ。日曜日はカボチャ饅頭も。

「やっぱり新そばは美味しい」「揚げたてのかき揚げがうまく、お代わりした」・・・そんな声を聞くにつけ、『さくらの郷』が地元の皆さんに愛されていることが伝わってきました。

近郊から2日続けて訪れた人も。皆さん元気な笑顔でした。

